

専務室

渉外委員会 事業計画

渉外委員会 委員長 大泉 工

多様な価値観をもつメンバーが集まり、地域のために思い日々活動しているからこそ、私たちは先達たちが創り上げ醸成された水戸青年会議所の価値観にもとづき、同じベクトルに向かい力強く運動を継続しなければなりません。JC運動の基本理念を認識し、互いの結束力を高め、メンバー一人ひとりが自分よりも他を大切に想う利他の精神を大事にしながら、市民や他団体に対し範を示せるメンバーの育成に繋がる組織運営を目的とします。

まずは、京都会議にて組織の運動の推進力を強めるために、全メンバーでの参加を目指し組織としての一体感を高めながら、会頭所信より基本理念を学び、LOMファンクションで時間を共有することで、士気の高いメンバーで1年を始動します。そして、互いの結束力を高めるために、よりメンバーに読んでもらえるよう日々の活動に焦点をあてた委員会紹介など新しい分野を取入れた水戸青年会議所便り「魁」を配信することで、JC運動や個々の活動を身近なものとしします。また、70周年を盛大に迎えるために、近年を年表とした水戸JC史を作成し、過去から新たな気づきを得ることで、培われた歴史を確りと継承します。さらに、これからも力強く運動を続けるために、公に対しより手本となる組織運営を行い、地域から愛され必要とされる組織としてのブランド力を高めることで、水戸JCの中枢を担う会員が集まります。そして、各地のLOMメンバーと交流を深め多くの出会いを経て自身の成長に繋げるために、諸大会の内容だけでなく魅力をメンバーへ伝え、出向先の活動を案内し参加を推進することで、諸大会へ多くのメンバーで出席します。

一人ひとりを大切に想う組織運営のもとメンバーが一丸となり、組織に固い絆が構築され、身近なJC運動は個々に強い主体性を生み、歴史と価値観を確りと継承したメンバーにより各委員会の事業は成功へと導かれ、力強く水戸を牽引する組織運営が実現されます。

<事業計画>

1. 移動例会「京都会議」でのメンバーの成長、連携強化
2. 水戸青年会議所便り「魁」の作成・配信による運動の活性化
3. 70周年を円滑に迎えるための「水戸JC史」の作成
4. ブランド力の向上による会員拡大
5. 積極的な諸大会参加による出向者支援